令和３年　北海道内における住宅用火災警報器の奏功事例

※　朝（６：００から９：５９時まで）、昼（１０：００から１３：５９まで）
夕方（１４：００から１７：５９まで）、夜（１８：００から２１：５９まで）、
深夜（２２：００から１：５９まで）、早朝（２：００時から５：５９まで）

※　　は、広報等で活用する際、非公開とする項目

件数	月	発生時間	時間区分※	建物種類	感知したタイプ	出火場所	設置場所（鳴動場所）	出火原因	覚知者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	14:30	昼	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	ガスコンロの消し忘れ（非火）	居住者が台所でフライパンを一口コンロの火にかけたまま、居間で寝てしまったため、内容物が焦げて煙が部屋に充満し、住宅用火災警報器が発報。警報音で目が覚めた居住者がガスコンロの火を止め、火災には至らなかった。上階の客人が臭いと煙に気づき、下階の確認をした後、消防に通報したもの。
2	1	17:59	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	居住者が調理中にＩＨクッキングヒーターから目を離したことにより鍋が空焚き状態となり、室内に白煙が充満。 住宅用火災警報器が鳴動したことにより居住者が気づき警察へ通報 警察経由で消防への通報、覚知に至る。
3	1	16：35頃	夕方	戸建住宅	煙式	台所	台所	たばこ	居住者	たばこの不始末	居住者が入浴中に、住宅用火災警報器が吹鳴しているのに気が付き、周囲を確認したところ、台所のシンク内のゴミ箱に捨てたたばこの吸い殻が燻っていて煙が出ていたのを発見したもの。家人により水道水をかけて消火し大事に至らなかったもの。
4	1	19:26	夜	アパート・マンション等	煙式	台所	その他（居間・不明を含む）	こんろ	居住者	鍋の空焚き（非火災）	発見者（1101号室）は、風呂場でお湯を沸かしていたところ、住宅用火災警報器の鳴動を確認したことから、鍋の空焚きを発見し、コンロの火を止めるとともに玄関ドア及びベランダ窓を開放して換気を行った。なお、台所及び居間に住宅用火災警報器が設置されていたが、どちらが鳴動していたかは不明である。 通報者は（1104号室）は、隣接（1105室）の居住者が自宅にいたところ、焦げ臭い臭気を感じ通報を依頼されたもの。